



(住所) 港区虎ノ門3-6-9 (電話) 03-5422-1548
(HPアドレス) <http://tsubasa.minato-kyo.ed.jp/>



子どもの自己主張を促す関わり方

自己主張が苦手な子は、自分を抑える行動が強くなりすぎてしまい、社会的適応に課題がみられることがあります。子どもが適切に自己主張しながら成長していく過程においては、親の適切な関与が大切になります。

先日読んだ Web ページに興味深い記述があったので紹介します。

●子どもの言葉を遮らずにしっかりと聴く

普段から、子どもの言葉を落ち着いて最後まで聴くように心がけることが大切だといわれています。つい、忙しいと、子どもの話をきちんと聴かないで「こうでしょ!」と結論を出してしまいがちですが、先回りして言いたいことを代弁してしまったり、否定してしまったりすると、子どもは尊重されていないと感じ、自分の意見が言えなくなってしまうものです。

「そのときのこと、もっと教えて?」「そのあと、どう思ったの?」と、話を促す質問を入れると子どもはどんどん話すようになります。子どもが「イヤだ」「困った」と思ったときに、それを主張してもいいと、体験させてあげることが重要です。

自己主張のベースは、話をしっかりと聴いて、子どもの意見を尊重することから始まります。

●親が先回りしてやってしまうと逆効果

引っ込み思案の子どもに、母親が過干渉な関わりをすると、引っ込み思案が持続すると言われていきます。親が過干渉だと、子どもが自力で小さな困難を克服するチャンスを奪ってしまいかねません。子ども自身に経験させてあげることが大切です。

親は子どもの様子を見ていて、何も言わなくても次に何をしてほしいのかわかります。おもちゃを取ってほしいとき、トイレに行きたいときも親は察することができて、親のほうから声をかけてあげますが、必ずしも望ましいとはいえません。察してくれる大人がいないと、子どもから適切な自己主張ができなくなってしまうからです。自分の言葉で「おねがい」する方法を教えることが大切です。たとえば、「どうしたの?」と聞く。すると、「あのおもちゃがほしい」「トイレに行きたい」と自分で答えるようになります。「トイレ」と、単語しか言わなかったときは、「トイレに行きたいって言ってみて」とセリフを言える練習をさせるようにしてみてください。口癖として習慣にしまうと、どんな場面でも自然と言葉が出てくるようになるものです。

【子どもを伸ばす幼児教育情報サイト CONOBAS (コノバス) より】

つばさ教室に来る子どもたちは、自己主張が苦手なギリギリまで我慢してしまう傾向が強いように感じます。バランスよく「自己主張」と「自己抑制」ができるようにするためには周りの大人の適切な関与が必要です。

つばさ教室では、安心できる環境を提供しながら、適切に自己主張できるよう促してまいります。



避難訓練・プラネタリウム鑑賞



5月21日(火)、児童・生徒4名が参加して、避難訓練を行いました。つばさ教室のある4階から1階の避難場所(駐車場スペース)まで階段を使用して避難しました。約120段の階段を1列で降りたのですが誰も話をする児童生徒がいなかったのは立派です。つばさ教室から3分ほどで1階の避難場所に到着し、指導員から避難訓練の総評が行われました。地震等の災害時にはエレベーターは絶対に使用しないこと。また、この教育センターの建物には千人近い人たちが勤務しているので、実際に災害が発生すると大勢の人々がこの避難場所に集まり、混乱が生じるので落ち着いて行動する必要があるという話がありました。児童生徒たちは、この避難場所に千人の人々が避難していることを想像して驚いていました。

避難訓練終了後は、みなと科学館に移動して、プラネタリウム鑑賞と館内の見学を行いました。プラネタリウムでは「星空散歩 ～ひしゃく星をさがそう～」というプログラムを鑑賞しました。ひしゃく星と言えば北斗七星が有名ですが、実は星座の中では数多くのひしゃく星が存在します。複数のひしゃく星を教えてもらうたびに児童生徒は小声で「知らなかったー」、「今度さがしてみよー」と口に出していました。プログラムの最後に今日一日の星座の動きを投影してくれたのですが、それはタイトルのごとく星座を散歩している感覚になりました。

気象庁ブースでは、地震、津波、洪水、竜巻等の自然災害についてゲームを通して学ぶことができました。科学館ブースでは、昆虫展ということもあり、児童生徒たちは巨大カマキリ、カブトムシに圧倒されていました。ブース内の体験コーナーでみんな仲良く遊んでいる姿はとても微笑ましかったです。

生徒たちの感想を紹介します。

リクライニングシートの機能でリラックスして星空を眺めることができました。上映が終わるころ、星座の絵が全て表示されたとき、とても楽しい気分になりました。(N)

私の今日の思い出は大きく二つあります。

一つ目は、プラネタリウムです。私はつばさ教室の人たちとプラネタリウムを見ました。ひしゃくの形の星座についての話で、知らないことばかりでした。星々の動きがとてもきれいでした。暗かったので少し眠たくなりました。見終わった後も少し眠たかったです。

二つ目は、プラネタリウムの下の階の科学館です。先生や同級生と耳の年齢がわかる音を聞きました。その後に数字を順番に素早くタッチするゲームに二回挑戦しました。最高記録は二位でした。わずかな差だったので、悔しかったです。また、チャレンジしたいです。(B)

私はみなと科学館へ行き、二つのことを体験しました。

一つ目はプラネタリウム。ちょうど北斗七星についての話があり、見つけ方や神話などを教えてもらいました。中でもアークトゥルスとスピカの距離の話はとても神秘的でいい話だと思いました。

二つ目は、科学館でのアトラクションです。地震が起きた時の行動や、津波がどのように押し寄せてくるのかを見たり、クイズを解いたりして学ぶことができました。

一階ではカマキリやカブトムシの大きな模型、耳年齢のテスト、昆虫の重さを実際に比べられる展示など面白い展示物がたくさんあり、科学館の方もいろいろ教えてくださったので時間があつという間に過ぎるくらい楽しかったです。

また機会があれば訪れたいです。(Y)

Let's enjoy English

つばさ教室では、毎週水曜日に外国語活動として外国人講師の先生を招いて英語に親しむ活動を行っています。今年度から、NTの先生が変わりましたので、先生からのメッセージを掲載します。

My name is Frank Juanitez. I'm a new English teacher in Tsubasa for this year. Let's have fun together.

English is difficult for many, but it is fun. Always strive for excellence without comparing yourself to others.

Believe in yourself and all that you are. It is the courage to continue that counts. Learning is a lifelong enriching journey. You have a wonderful future ahead of you.

【日本語訳】(by ChatGPT)

私の名前はフランク・フワニテズです。今年からつばさ教室で英語の先生をします。一緒に楽しく学びましょう。

英語は難しいと感じる人も多いですが、楽しいものでもあります。

他の人と比べずに、自分のベストを尽くしてください。

自分を信じてください。続けることが大事です。学びは一生続く素晴らしい旅です。あなたには素敵な未来が待っています。



栽培活動

つばさ教室では、毎年、アクティビティルームで水耕栽培をしています。

5月13日(月)に水を含ませたキッチンペーパーにオクラの種をまく催芽まきをしました。その後、児童・生徒は毎日のように観察をしながら、水が乾燥していないか気にしてくれていました。すぐに発芽をし、日に日に大きくなるオクラの成長の速さに児童・生徒は驚いていました。

5月20日(月)以降は発芽した種を砂の入ったポットに植え替えて、よく日の当たるアクティビティルームで育てています。つばさ教室には土の花壇がないのでアクティビティルームでうまく育つか心配ですが、児童・生徒の期待通りに大きく育ててほしいと思います。



----- 6月の予定 -----

外国語活動 11:00~12:00	6月 5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)
体育活動 14:00~15:00	6月 4日(火)、6日(木)、11日(火)、13日(木) 18日(火)、20日(木)、25日(火)、27日(木)

※中学生は定期考査が行われる場合、体育活動を行わない日があります。